

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【公開番号】特開2020-189149(P2020-189149A)

【公開日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2020-048

【出願番号】特願2020-135912(P2020-135912)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 3 C

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月30日(2021.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

有利区間であることを報知可能な所定の表示手段を有し、

通常区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有していないよう構成され、

有利区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知可能な場合を有するよう構成され、

有利区間では、所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合と、前記所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知しない場合とを有し、

有利区間における遊技の実行に応じて更新可能な値を記憶可能な所定の記憶手段を有し、

特定の抽選結果となり、特別の図柄組合せが停止表示された場合には特別遊技状態に移行可能とし、

前記特定の抽選結果となり、前記特別の図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次の遊技は内部中遊技状態の遊技であり、

有利区間における内部中遊技状態でも、遊技の実行に応じて前記所定の記憶手段に記憶されている値を更新可能とし、

前記所定の記憶手段に記憶されている値が有利区間を終了する値となった場合には、有利区間を終了するよう構成され、

有利区間を終了する場合には、前記所定の記憶手段に記憶されている値を初期化するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされていない第1の状況下で電源スイッチをオンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している前記所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされている第2の状況下で電源スイッチを

オンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯しないよう構成されていることを特徴とするスロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明が解決しようとする課題は、有利区間を備えるスロットマシンにおいて、有利区間であることを遊技者に報知することができるようになることである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

有利区間であることを報知可能な所定の表示手段を有し、

通常区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有していないよう構成され、

有利区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知可能な場合を有するよう構成され、

有利区間では、所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合と、前記所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知しない場合とを有し、

有利区間ににおける遊技の実行に応じて更新可能な値を記憶可能な所定の記憶手段を有し、

特定の抽選結果となり、特別の図柄組合せが停止表示された場合には特別遊技状態に移行可能とし、

前記特定の抽選結果となり、前記特別の図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次の遊技は内部中遊技状態の遊技であり、

有利区間ににおける内部中遊技状態でも、遊技の実行に応じて前記所定の記憶手段に記憶されている値を更新可能とし、

前記所定の記憶手段に記憶されている値が有利区間を終了する値となった場合には、有利区間を終了するよう構成され、

有利区間を終了する場合には、前記所定の記憶手段に記憶されている値を初期化するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされていない第1の状況下で電源スイッチをオンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している前記所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされている第2の状況下で電源スイッチをオンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯しないよう構成されている

ことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明によれば、有利区間であることを遊技者に報知することができる。